

COVID-19 と先天性心疾患

COVID-19 とは何ですか？

COVID-19 はコロナウイルス によって起こる新しい病気です。COVID-19 が人類に与える影響はまだ調査され始めたばかりです。COVID-19 があなたにどんな影響を与えるかは、地域の医療者が最新情報を持っています。

COVID-19 による症状は？

一般的な症状は熱、乾いた咳、疲労感、身体の痛みです。湿った咳や、胸の痛み、息苦しさは症状として現れる人もいます。少数ですが、下痢や嘔吐、めまいを訴える人もいます。しかし、COVID-19 にかかった大人や子どもの多くには症状がありません。症状がなくても、あなたが他の人に COVID-19 をうつしてしまうことがあるのです。

COVID-19 はどのくらい危険なの？

ほとんどの子どもには軽度の症状がありますが、多くは数日でよくなります。COVID-19 によって亡くなった子どもはほとんどいませんが、子どもが完全に安全というわけではありません。ほとんどの大人にとっても COVID-19 は軽い病気ですが、5 人に 1 人は病院に行く必要があります。全ての年代の大人のほとんどが回復します。入院したり、亡くなったりする可能性は年齢や他の病気の有無によって異なります。どんな人が入院や死亡のリスクがあるかは今後の調査によって変わる可能性があります。

心臓病のある子どもや大人に特別な危険はありますか？

このウイルスが心臓病のある子どもや大人にどんな影響を与えるかはまだ分かっていません。ほとんどの心臓専門病院では COVID-19 にかかった先天性心疾患患者はまだ見たことがありません。先天性心疾患以外の心臓病のある方に関してはハイリスクと言われています。心臓病のある方の多くは、もともと心臓や肺が弱っているので、ウイルスにかかることによってより危険な状態になる可能性があります。心臓に問題のある全ての人がハイリスクになるとは限りません。

リスクの高い疾患

- 非常に複雑な疾患
- 単心室
- 酸素飽和度が低い、またはチアノーゼがある
- 心臓の力が弱っていたり、心不全がある
- 不整脈がある
- 肺高血圧などの肺の問題がある
- 過去 3 ヶ月以内に心臓の手術を受けている
- 心臓移植後

ほかにどんな健康問題があると危険ですか？

肥満、糖尿病、喫煙、その他の先天性の異常、肝臓や腎臓の問題、免疫力が弱いとリスクが高くなる可能性があります。頻繁に投薬を必要とする喘息もリスクが高いです。もしあなたやあなたのお子さんのリスクについて質問がある場合は、主治医に相談しましょう。

心臓に使用している人工物(ペースメーカー、心臓弁、ステント、導管、閉鎖栓)は感染しますか？

いいえ。COVID-19 は心臓や胸部に使用しているどのようなものにも感染しません。

COVID-19 に対するワクチンや薬はありますか？

今のところは COVID-19 の予防や治療のワクチンはありません。いくつかの薬について、その安全性と効果の検証が進められています。

わたし/子どもが外科手術の予定があります。どうしたらいいですか？

外科手術の実施は、地域やそれぞれの病院で対応が異なります。あなたやお子さんの手術が延期になるかどうかは、手術を予定している病院に聞いてみましょう。

わたし/子どもは心臓の定期検診に行くべきですか？

基本的に、定期的な通院は避けましょう。定期検査や定期検診は特に問題なく延期することができます。もしあなたやお子さんの心臓に関して緊急の問題がある場合、どうしたら良いか主治医に連絡しましょう。急を要するかわからない場合も主治医に連絡しましょう。

わたし自身や子どもを COVID-19 から守るにはどうしたらいいですか？

- できるだけ家にいましょう
- 流水でよく手を洗いましょう
- 外出先ではこまめに手指消毒剤（しゅししょうどくざい）を使いましょう
- 咳やくしゃみは肘の内側で受け止めましょう
- 出かけるときにはマスクをしましょう
- よく人が触れる場所を消毒剤（しょうどくざい）で拭きましょう
- 人との距離は 2m 以上開けましょう
- 病気の家族には、近づかないようにしましょう

ハイリスク患者であるわたしや子どもは仕事や学校に行くべきですか？

ハイリスクな心臓病のある人は、可能な限り仕事や学校に行かないようにしましょう。たとえ体調が良くてもです。もしそれができない場合は、安全に過ごすためにどうしたらよいか主治医に聞いてみましょう。

もしわたしや子ども、家族が COVID-19 かもしれないと思ったらどうしたらいいですか？

あなたやあなたのお子さん、家族の誰かに症状（しょうじょう）がでた場合は、病人を隔離（かくり）しましょう。すぐに病院に行くのではなく、電話で病院に連絡し、相談してください。ほとんどの場合、熱やその他の症状（しょうじょう）は数日でよくなります。もし症状（しょうじょう）がよくなるか、悪くなっている場合は、主治医の指示に従ってください。

COVID-19 によって、心臓の薬をやめるべきですか？

医師の指示がない限り、いつもどおりの薬を継続して服用してください。これには抗凝固薬（こうぎょうこやく）や抗血小板薬（こうけつしょうばんやく）、（ふせいみやく）不整脈の薬、ビタミン剤が含まれます。もし薬に関して質問がある場合は、主治医に連絡して下さい。

風邪症状（しょうじょう）がある時はどんな薬が役に立ちますか？

痛みや熱にはアセトアミノフェンが役に立ちますが、薬を使用する前には主治医に聞いてみましょう。

他に飲んではいけない薬はありますか？

もし、COVID-19 に感染したかもしれないと思ったときには、薬を服用する前に主治医に確認しましょう。例えば、喘息（ぜんそく）の薬などを安全かどうか確認せずに服用してはいけません。特定の薬の服用や、用量（りょうりょう）について心配なことがあれば主治医に聞いてみましょう。

もしわたしや子どもの心臓の具合が悪くなったらどうしたらいいですか？

あなたや、あなたのお子さんの顔色が悪くなったり、息苦しくなったり、脈がはやくなったり、うとうとしているとき（意識レベルが悪いとき）はすぐに医師の診察を受けてください。最寄り（もよりの）の病院に行って治療をうけましょう。もし可能であれば事前に病院に電話で連絡しておく、病院も治療の計画や準備をすることができます。